

令和7年度 在外派遣事業 成果報告会

ICOMドバイ大会
ICR（地域博物館国際委員会）

大阪国際大学
五月女賢司

大会参加の成果

- 国際的な博物館政策、倫理規範、SDGs実践、博物館定義の運用、MICE戦略などの最新動向を把握
- 日本の博物館行政・制度課題・人材育成・地域連携を再考する示唆



大会参加の成果（論点）

1. 倫理規程改訂：包摂性・透明性・説明責任への国際的要請
2. サステナビリティ賞：コミュニティと社会課題を扱う博物館像
3. 新博物館定義Handbook：概念の実務化の方向性
4. ドバイ都市戦略：文化・MICE政策と都市インフラの統合

大会参加の成果（今後の示唆）

- 社会的弱者の包摂、環境問題、国際対話、多文化共生、デジタル共存
→博物館の中核ミッションとして位置づけ
- 日本の行政政策、補助制度、専門職養成、地域連携と密接に関連
- 知見を国内の研修・学会・政策提言へ還元

五月女の口頭発表

- ICRセッション(11月15日)
- “The Emergence and Institutionalisation of Community Museums in Zambia”



五月女の口頭発表（研究内容）

- ザンビアのコミュニティ・ミュージアムの生成過程と制度的背景
 1. 地域住民の実践としての成立
 2. 国立博物館機構・文化政策の制度的文脈
 3. National Museums Act改正と制度的位置づけ

五月女の口頭発表（研究目的）

1. 先行研究（吉田憲司・Victoria Phiri）を踏まえた実践の進展の分析
2. 中央集権型から地域主体型博物館モデルへの移行可能性

五月女の口頭発表（議論）

- 博物館：モノの展示 → 人びとが物語を語り育つ場
- コミュニティによる文化的ナラティブの解釈と共有
- 日本の地域博物館実践への比較研究の視座

ICRにおける選挙・ガバナンス問題

- 2025年11月 ICR委員長と理事会メンバー4名の対立
- ICOM総会投票代表者選任をめぐる手続き問題

ICRにおける選挙・ガバナンス問題 (1)

争点

- ICR理事会合意の名簿ではなく委員長が独断で代表者登録
- 理事会への情報開示拒否
- ICR理事会はICOM本部へ抗議

ICRにおける選挙・ガバナンス問題 (2)

理事会側主張

- 投票者選任は理事会決定事項
- 委員長の行為は手続き違反
- 透明性・公正性の欠如
- 意思決定権を奪われたとの認識

ICRにおける選挙・ガバナンス問題 (3)

ICOM本部対応

- 委員長は委員会代表権を持つとの法務判断
- 理事会側の主張は「内部不和」と扱われた

ICRにおける選挙・ガバナンス問題 (4)

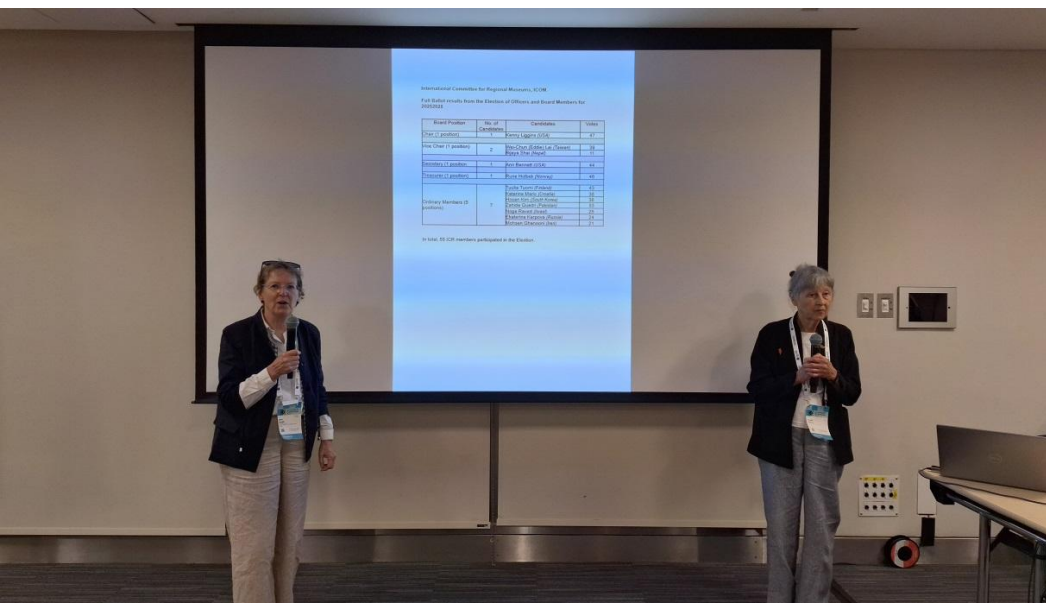
理事会の反応

- ICOMのガバナンス姿勢への失望
- 規約遵守の意義への疑問
- コミュニケーション断絶

ICRにおける選挙・ガバナンス問題 (5)

ICR総会結果

- Kenny Libben 新委員長(2025-2028)
- 前委員長は理事就任
- 五月女:ICR理事選立候補せず
- ICOM-ICOFOM-ASPAC理事就任(2025-2028)



International Committee for Regional Museums, ICRM.

Full Ballot results from the Election of Officers and Board Members for 2025/2028

Board Position	No. of Candidates	Candidates	Votes
Chair (1 position)	1	Kenny Liggins (USA)	47
Vice Chair (1 position)	2	Wei-Chun (Eddie) Lai (Taiwan)	39
		Bijaya Shai (Nepal)	11
Secretary (1 position)	1	Ann Bennett (USA)	44
Treasurer (1 position)	1	Rune Holbek (Norway)	46
Ordinary Members (5 positions)	7	Tuulia Tuomi (Finland)	43
		Katarina Maric (Croatia)	38
		Hosun Kim (South Korea)	36
		Zahida Quadri (Pakistan)	33
		Noga Raved (Israel)	25
		Ekaterina Karpova (Russia)	24
		Mohsen Ghanooni (Iran)	21

In total, 55 ICRM members participated in the Election.

ICRにおける選挙・ガバナンス問題 (6)

ICR新理事会

- 委員長 (Chair) : Kenny Libben (USA)
- 副委員長 (Vice-Chair) : Wei-Chun (Eddie) Lai (Taiwan)
- 事務局長 (Secretary) : Ann Bennett (USA)
- 会計 (Treasurer) : Rune Holbek (Norway)
- 理事 (Board Members) : Katarina Maric (Croatia)、Zahida Quadri (Pakistan)、Noga Raved (Israel)、Tuulia Tuomi (Finland)、**Hosan Kim (S. Korea)**
- 選挙管理委員 (Election Committee) : Jane Legget (New Zealand)、Irena Zmuc (Slovenia)、Susan Hanna (USA)

ICRにおける選挙・ガバナンス問題 (まとめ)

- 新理事会のもとで
- ガバナンス・選挙手続き改善が今後3年間の重要課題

